



その「物語」の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.046

a taste of LaSSY

田中 康夫



たなかやすお ●'56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。[公式ブログ] www.nippon-dream.com/

LaSSY

新年特別号の月刊『文藝春秋』
が、特集「日本はどこで間違えた
か」を組んでいます。「低迷を招い
た分岐点はいつか。もう一つの日
本は可能だったか」の副題を冠し、
30人が執筆しています。その一人
として僕も、「承認必謹」の深意
を忘れた日本人——1945年」を
寄稿しました。

聖徳太子が十七条憲法の第三条
に記した承認必謹は、「しようよ
うひつきん」とルビを振らねば読
めぬ程、今や忘れ去られた四文字
熟語です。【詔を承けては必ず謹め】

II 天皇の意思には謹んで耳を傾け
なさい。
が、大日本帝国憲法に引き継れ
た「承認必謹」は、「天皇の命を受
けたら必ず従つ」と「拡大解釈」
され、「鬼畜米英」の悲劇へと突入
します。昭和天皇自身は「万一情
勢の推移によって重大な危機に直
面する」と三國同盟締結の直前、
木戸幸一内大臣に懸念を表明し、
刊行された彼の日記に記されてい
るにも拘らず。

而して、「終戦の詔勅」を以て天
皇の詔勅は途絶え、ダグラス・マ

ツカーサーなる無頼漢との写真が
公開された日本では、「承認必謹」
を発するのは占領国アメリカだと
信じて疑わぬ「親米保守」が跳梁
跋扈し始めます。

冷静に考えたなら、「謎」です。
親英保守、親仏保守、親中保守。
聞いた記憶が有りません。台湾は
親日的、と熱っぽく語る向きすら、
自身を「親台保守」とは名乗ります。
せん。親米保守のみが四文字熟語。
「至る独立国」です。

夫婦でも親子でも恋人でも、相
方が歩むべき道を見失っている時
に愉しむのを推奨します。

かんべい 「諫米」の意識を持ってこそ、二項対立を超えた眞のパートナーに

今週の逸品



ベーコンチーズバーガー 1350円

年末年始の料理に食傷気味でハンバーガーを欲したなら、迷わず赴くべき空間。全席喫煙可の本店から徒歩30秒のカリフォルニアハウスは終日禁煙。テラス席はペット同様可。14種類のサンドwichesはホワイト。



豚骨、ブロウンからパンを選択。32種類のハンバーガーに加えて6種類のホットドッグも捨て難い。チョリソー、フライドチキン等のサイドディッシュ、更にはスープも充実。原宿の隣地とは無縁の心温まる時空。

illustration by Hajime Anzai

には「正心誠意」、道理を説いてこそ、そのパートナー。「TPP騒動」以前から繰り返し諫言してきました。が、親米ならぬ從米こそが日本歩むべき道、と自信する「名誉白人」な面々が「政官業界報」ベンタゴンに未だ存在します。

従米、屈米、更には反米、嫌米とも異なる「諫米」の意識こそが、二項対立を超えた眞のパートナー。車ろアメリカの良識的保守派は、斯くなる心智への到達を日本に望んでいるというのに。

明治神宮からも東郷神社からも徒步圏内の路地裏で営まれる「ザ・グレートバーガー カリフォルニアハウス」東京都渋谷区神宮前6-14-12 モードS 1F ☎03-3409-2018 営業時間11:30~23:00(L022:30) 無休 店内終日禁煙 <http://www.the-great-burger.com/>